

★軍備増強は平和をもたらすか

―新安保懇（*）報告書に問題あり―

★今までのやり方はもう古い？

◆八月二十七日、（*）「新たな時代の安全保障と防衛力に関する懇談会」は、菅首相に、日本の新しい防衛政策について報告書（提言）を提出しました。

◆基本的に今までの防衛政策はもう古い、見直してもっと基盤を強化（軍備増強）すべきだと提言しています。力には力を、そしてその力をもっと強くという提言に私たちは先ず不安を覚えるのです。

★集団的自衛権・武器輸出三原則見直し

◆提言では、現在禁じられている集団的自衛権の行使を認め、武器輸出三原則も見直すべきと言っています。

◆これは、アメリカと共に戦争に参加する事ができるようにすること、武器を売って儲ける死の商人になるとうことと同じです。今夏、広島市長が訴えた非核三原則―これでアメリカを縛るべきではないとも提言しています。

★防衛基盤整備の底にあるもの

◆底にあるのは中国・北朝鮮脅威論です。確かに中国・北朝鮮の姿勢には不安を感じさせるものがあります。

◆しかし、防衛基盤を見直して力で対抗せよとの提言は、相手をますます軍備増強に駆り立てるだけではありませんか？。両国にとつても、日本と軍備競争をして何のメリットがあるでしょうか？

★軍備増強では平和は作れない。

◆武力では国は守れない。武力で世界と仲良くやってはゆけない。戦争放棄・非武装こそ国の平和をもたらし、世界と仲良くやってゆける・・・これがあの敗戦から学んだことでした。

◆その学びから生まれたのが、今の平和憲法（戦争放棄・非武装国家の宣言）でした。このたびの提言は、この平和憲法に全く逆行するものです。

◆政府はこの提言をもとに年末までに「防衛計画大綱」をまとめるとのこと。菅首相、どうかこの報告を鵜呑みにしないで下さい！

二〇一〇年十月十日（日） 第五二四回憲法を守る平和行進
浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中央区紺屋町三〇一―一五

★月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合

